

Title	第五十二巻自第七号至第十二号総目次：昭和三十四年下半期
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1959
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.52, No.12 (1959. 12) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19591201-0079

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌 第五十二卷 自第七号至第十二号 総目次 (昭和三十四年下半年期)

論 説

啓蒙期の社会主義と道徳哲学——特にモレリイとマップ——	平井 新	七	一	五六九
イギリスにおける社会民主主義の形成過程(その一)				
——ウィクトリア中期——資本主義の相対的安定期——	飯田 鼎	七	一七	五八五
における社会民主主義の性格形成について——	大島 通義	七	三五	六〇三
一八九一—三年のプロイセン税制改革——帝国主義形成期における——	大宮 慎一	七	五三	六二一
勲学的国際資本移動理論——				
昭和年代始期の財政学の転換過程に於ける若干の疑問				
——現代財政学的前提段階の回顧——	高木 寿一	八	一	六七一
Liberi homines, centena et centenarius.....	宇尾 野久	八	一五	六八五
産業別・規模別分配率再論——産業スペクトル論序説——	西川 俊作	八	三八	七〇八
わが国対東南アジア経済協力の新段階.....	山本 登昭	九	一	七四九
経済余剰と経済成長.....	大西 昭	九	一二	七六〇
社会民主主義と労働階級窮乏化理論.....	丸尾 直美	九	三〇	七七八

現代社会における大企業	青沼吉松	十	一	八三一
余暇・所得選好場と変位の計測	小尾恵一郎	十	一六	八四六
近世農政思想の一考察——幽谷を継承した人々——	島崎隆夫	十一	一	九三五
鉄鋼業生産函数の計測	岩田曉一	十一	一六	九五〇
『精神現象学』の疎外論	遊部久蔵	十二	一	一〇一三
レウデス考	宇尾野久	十二	二五	一〇三七
封建領主制確立期における浅野氏	速水融	十二	四〇	一〇五二

資 料

英国六産業における企業合併の諸効果	北原 勇	七	七二	六四〇
——P. L. Cook and R. Cohen; "Effects of Mergers"——	持丸悦朗	九	四四	七九二
ドイツ社会運動史にかんする最近の資料(その二)	飯田 鼎	十	三二	八六二
——社会主義鎮圧法の時期におけるドイツ社会民主党の闘争——帝国委員会の活動——について——	中村勝己	十	四八	八七八
一七世紀末ニュー・イングランドのタウンについて	古田精司	十	六〇	八九〇
——サファイールド(マサチューセッツ)の場合——	白井 厚	十	七一	九〇一
マスグレイヴの予算決定の綜合理論	持丸悦朗	十	八一	九一一
ウィリアム・ゴドウィン研究文献(二)				
ドイツ社会主義運動史にかんする最近の資料(その二)				

一九〇五—一九二二年のドイツ社会民主党史

——Schorske, Berlau の二つの研究書より——	正田庄次郎	十一	三七	九七一
--------------------------------	-------	----	----	-----

学 界 展 望

太閤検地をめぐる最近の研究動向	速水 融	八	五四	七二四
-----------------	------	---	----	-----

書 評 及 び 紹 介

A・H・ラヂンシチエフ著『ペテルブルグからモスクワへの旅』	野地洋行	七	八九	六五七
ジャック・ドウニー著『競争的過程』	原 豊	七	九四	六六二
B・C・ロバート著『労働組合会議——一八六八—一九二二』	飯田 鼎	八	六九	七三九
平出宣道著『近代資本主義成立史論』	中村勝己	九	五二	八〇〇
麻生久伝刊行委員会『麻生久伝』	飯田 鼎	九	五五	八〇三
ハンス・ヴィルグラー著『古典学派批判者としてのマルサス』	白井 厚	九	六二	八一〇
儀我壮一郎著『現代中国の企業形態』	平野 紬子	九	六七	八一五
高村象平監修『日本塩業史』	宇治順一郎	九	七一	八一九
真実一男著『機械と失業——リカアドゥ機械論研究——』	井村喜代子	十	九一	九二一
T・シトフスキー著『経済理論と西欧経済の統合』	原 豊	十	九七	九二七

カール・ハインツ・ライディヒカイト著					
『ドイツ労働運動におけるウィルヘルム・リープクネヒトとアウグスト・ベーベル』	飯田 鼎	十一	五一	九八五	
エリザベス・アイゼンスタイン著					
『最初の職業的革命家、フィリップ・ミッシェル・ブオナロッチー——伝記的評論——』	飯田 鼎	十一	五五	九八九	
平田隆夫著『社会保障』	庭田 範秋	十一	五九	九九三	
ロジェ・ガロディ著『疎外論』	白井 厚	十一	六四	九九八	
K・K・クリハラ著『経済発展のケインズ理論』	西野 義彦	十一	六九	一〇〇三	
フランコ・プリビチエヴィッチ著					
『職場委員会運動と労働者の管理、一九一〇—一九二二年』	飯田 鼎	十二	六三	一〇七五	
F・ゲー『十八世紀ベリにおける生産・価格・土地の収益性』	渡邊 國廣	十二	六九	一〇八一	